



嘉数っ子の健やかな健康を願って

嘉数っ子の健やかな成長支援として各種保健行事が校医の先生方の丁寧な診察の下で、実施されています。また、身体計測の後、2年生以上の子ども達には養護教諭が「睡眠の大切さの話」の保健指導も行いました。これまでにを行った検査は身体計測、1年生心電図検査、1～3年生と5年生の聴力検査、1～6年生内科検診、1・3・4年生歯科検診、視力検査、尿・ぎょう虫検査、となっています。

診察を待つ間、緊張した顔の嘉数っ子も診察が終わったらほっとひと安心していました。お子様の検査結果の中で受診勧告等がありましたら、早めのご対応をよろしく願いいたします。



歯科検診

身体計測

保健指導

内科検診

学校だより

嘉数小

開き・関わり・育む

第6号
(R6.6.21)

嘉数小学校
校長 金城美奈子



～人権擁護委員による 人権教室開催～

1年生・3年生・5年生を対象に人権教室を開催します。内容は以下の通りです。

1年：カルタ遊びを通して、カルタの言葉から人権に気づき、友達や家族、その周りの人と温かな人間関係をつくらうとする気持ちを持つ。

3年：嫌なあだ名で呼ぶことは、人の心を傷つける行為である事を理解し、勇気ある行動について考える。

5年：「いじめ」の実例を通して「いじめ」は、してはいけない事を知り、自分の人権の大切さ・自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づく。

今年度は19日(水)に5年生から開催されました。各学級とも自分の人権の大切さや他の人の人権の大切さについて深く考えることができました。



～平和集会開催～

6月20日(木)に平和集会を実施しました。沖縄県平和記念資料館友の会 古謝厚雄さんには1年生から4年生への講話、沖縄大学客員教授の新城俊昭さんには5年生から6年生への講話をしていただきました。

古謝さんは、戦争当時6歳で、山原(北部)の山に2カ月間こもっていた時の不自由な生活の話、捕虜収容所での様子や戦後7年たっても「茅葺屋根」の校舎で勉強していた体験談などを通して平和の大切さを語って下さいました。

新城さんは、戦争に勝った側のアメリカ兵ですら恐ろしい戦いであったことや戦争 PTSD について、チビチリガマとシムクガマでの生存者の違い、ハワイ移民の話などを通して戦争の悲惨さを伝え、「かたよった情報でなく正しい情報を集める」「他人任せではなく、しっかりと自分の考えを持って行動することの大事さ」「学ぶことの大切さ」について語って下さいました。

嘉数っ子の一人一人が、命の尊さに気づくことができたと思います。6月23日は慰霊の日です。ご家庭でも「平和について」話題に上げ、平和な日々を継続する為にできることを子どもと一緒に考える機会にして欲しいと思います。